

沼津商工会議所 令和2年度 経営発達支援計画 事業評価結果

項目	総合評価	委員コメント
1. 地域経済動向調査に関する事	3.8	特に景気動向調査は、コロナ禍における地域経済動向を把握するものとして有用なデータであり、情報提供においても集計、公表等迅速に行われており評価できる。
		青年部会員へのエンジェルタッチ調査のみ、目標件数に達していない。一方でATの使い勝手の悪さは周知の所であり、困難を極めているのは十分に理解できる。
2. 経営状況の分析に関する事	4.0	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中小企業支援センターにおける相談日を増やすなど、コロナ禍における経営分析や支援体制の強化等、迅速かつ手厚いサポートを実施している。
		目標2400件に対し、補助員の訪問件数まで足せば2643件(109.3%)になり、達成していると評価して良いだろう。コロナ禍における経営相談から経営分析件数は大きく伸ばし、評価できる。
3. 事業計画策定支援に関する事	4.0	計画件数は大きく目標を上回っており、セミナー開催においてもコロナ禍の厳しい状況の中で、webの活用など、十分な支援への対応がされている。
		コロナの影響から多くの補助金にかかる計画作成を手掛け大変だったと推測する。
		補助金申請が多かったとはいえ、目標の870%とは驚きである。経営革新計画の承認も135.7%と目標を上回った。また「ものづくり補助金の加点要件」として申請時点で良かったものが承認時点に変更されるので、一層の支援に期待します。
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事	3.7	フォローアップ件数は目標を大きく上回るなど、計画策定後の実施支援も十分行われており、評価できる。
		回数が622%に対して延べ回数が43.1%と言うことは、事後支援は1回のみが多かったと理解する。これなどはそもそも何度もフォローする必要性に疑問が残るため、目標設定が高い様にも感じる。
5. 需要動向調査に関する事	4.0	小規模事業者が需要動向を的確に把握できるよう、webを活用したセミナーを積極的に開催するなど、コロナ禍においても十分な対応がなされている。
		目標に対して、十分な実施回数(件数)を行っている。
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	3.0	全国的にも様々な商談会が中止になる中、ITセミナーを開催するなど可能な限りの対応がなされている。
		サイトの登録数の未達もあるが、最終的に「取引応援ネット」が終了となったことを考慮した。
		取引応援ネットの維持費を伺い、4社間での相談で「事業終了」となったのは止むを得ないと評価します。
7. 地域経済の活性化に資する取り組み	3.5	沼津ブランドの認定や6次産業化による特産物の開発など、地域経済の活性化に対し、積極的な取り組みがなされている。
		コロナ資金でとりあえず手持ちの預金が潤沢となり事業承継の話が減少している中での目標達成は評価できる。
		コロナ禍で、沼津ブランドの申請件数が少なかったのはやむを得ない。数ヵ月前に発表されたイシバシプラザ閉店後の北口周辺の活性化(衰退回避)に期待します。
8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	4.0	ぬまづビジネスサポート連絡会の開催など、他の支援機関との連携による事業者支援の充実に努めている。
		資格取得もさることながら、最近のベストセラー本から情報蓄積・意見交換するなども取り組まれたい。

4段階評価の目安

4:十分達成している 3:概ね達成している 2:どちらかと言えば達成できていない 1:全くできていない